

# 島本町立第三小学校 学校だより 令和2年9月臨時号②

〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井二丁目 25-1  
TEL 075-962-2521 FAX 075-962-2522 URL <http://www.shimamoto-ele03.ed.jp>

## リコーダー・鍵盤ハーモニカ演奏再開に向けて

2学期開始後、残暑というには厳しい暑さが続いていました。それだけに、つつい秋の気配を探してしまいます。朝夕のやや涼しく感じる風に、夜の虫の音に、子どもたちの「あっ!赤とんぼ飛んでる!」という声に嬉しくなるこの頃です。

この間も、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組んでまいりましたが、最も効果があるのは「マスク着用と手洗い。飛沫を飛ばさない、手についた汚れはこまめに洗い流す。」これらのことが習慣化されるように今後も努めるとともに、状況を見極めながら今まで見合わせていた学習活動も徐々に再開できたらと考えています。リコーダー・鍵盤ハーモニカの演奏についても控えてきましたが、再開いたします。その際、音楽室の児童机に飛沫防止ガード(シールド)を設置するとともに、右頁のことに配慮しつつ学習活動を進めてまいります。

(校長 中村 りか)

## ♪今こそ、心も体も音楽で元気に!♪

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校生活の中で子どもたちが不安を感じたり我慢したりすることが多く、様々なストレスを抱えているのではないかと憂慮しています。

こんな時こそ、私は音楽の力が必要だと思っています。音楽療法と呼ばれる治療法があるぐらい、音楽には人の心の傷を癒してくれたり治してくれたりする効果があります。音楽を聴いたり歌ったりすることで、心のストレスが少しでも和らぐのではないのでしょうか。

音楽の授業は週に1、2回しかないので、子どもたちが少しでもリラックスし、楽しめるように努めてきました。マスクをして色々な曲を歌ったり、リコーダーができなくても、一人一つずつ小さな木琴(何年も前に使われていた楽器が準備室に保管されていました!)を使って合奏をしたりして音を楽しみました。また、音を使った簡単な音遊びを取り入れました。子どもたちは、「え~おもしろい!!」と楽しそうに笑顔で参加してくれていました。「リコーダーを早くやりたい!」と言ってくれる子どもたちがたくさんいたので、何とかリコーダー演奏ができないかと実施方法について検討を重ねてきました。

この度、右頁の様に対策を行い、リコーダー演奏を再開することになりました。

コロナウイルスがいつ終息するかは未知ですが、音楽で元気になり、子どもたちの心の栄養になるよう今後も頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

(音楽専科 岡西 知恵瑠)

- \*音楽室に入室時、アルコールで手指消毒をします。
- \*机と机の間隔をあけて配置しています。
- \*音楽室の机に飛沫防止ガード(シールド)を設置します。
- \*リコーダー演奏後は、毎時間シールドのアルコール消毒を行います。
- \*笛は使用後に流水で洗います。



### 鍵盤ハーモニカについて(低学年)

- \*1週間2時間の音楽の授業のうち、鍵盤ハーモニカを演奏するのは1時間とします。(2クラスで使用するため、次の使用まで2日あけます)
  - \*1列ごと等、間隔をあけて演奏します。
  - \*鍵盤ハーモニカ本体の吹き口を装着する部分は毎回消毒します。
- ◎ご心配、ご不明な点がございましたら、学校までお問い合わせください。

## 5年林間学校(信楽陶芸村・アクトパル宇治)9/11(金)

子どもたちが楽しみにしていた林間学校。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、日帰りとなりました。宿泊したい!という願いがかなわないとわかった時に、学年で話し合いました。「楽しみにしていた林間学校だからこそ、宿泊はできないけどもっと楽しい林間学校にしよう!」と。

2学期はじめから6つのプロジェクトに分かれて準備を進めてきました。その準備の中で、「みんなからアドバイスをもらってうれしかった。」「クラスをこえて交流できた。」「人前で話すのが苦手だったけど、友だちから勇気をもらえた。」などの声があがっていました。

そして、迎えた当日。信楽陶芸村では、ろくろを回しながら、土の塊を、思い思いにコップやお皿、花瓶に変身させていく子どもたち。焼き上がりは陶芸村にお任せをして、作品は「忘れたころに届く」そうです。



続いてアクトパル宇治へ。開所式を行い、学年旗を掲揚し、活動がスタート。広々とした芝生の上でお弁当&おやつtime、そして、いよいよ川遊び。思いっきり楽しみました!!

最後は体育館へ移動し、レクリエーション活動です。キャンプファイヤーで登場するはずだった「火の神」ならぬその兄弟「日の神」を迎えて劇、ゲーム、クラス対抗ダンスバトルと続きました。しめくりは、末崎先生のギター伴奏で「ビリーブ」をしっとり歌いあげました。



心配した雨に降られることもなく、すべてのプログラムを行うことができました。『三小の代表としてのふるまい』『絆を深めるための活動に』『体調管理を行う』の3つのめあてのもと、子どもたちは自分の役割を果たしながら、精いっぱい楽しんで活動できたようです。

「でも、泊まりたかったなあ。」、,,,,、 来年こそ!!